

頁	場所	誤	正	刷
6	下から9行目	インフレは <u>債券</u> ・債務の	インフレは <u>債権</u> ・債務の	1
15	図1-9 (出所)	(b) 全国銀行協会「 <u>決算</u> 統計 年報(平成18年度版)」	(b) 全国銀行協会「 <u>決済</u> 統計年 報(平成18年度版)」	1
16	8行目から10 行目	2008年8月まではM2+CDが通 貨量の代表的な指標でしたが、こ れはM2に非居住者の預金を加 えたものです。	これは、2008年8月まで使われ ていた旧「M2」に譲渡性預金 (CD)を含めて、非居住者預金 を除外したものです。	1
16	最下行	労働 <u>許可証</u> (スタンプ通貨)	労働 <u>証明書</u> (スタンプ通貨)	1
17	図1-10	譲渡性預金	譲渡性預金 <u>(CD)</u>	1
23	表2-1 表2-2	金融取引表(2008年3月末) 金融資産・負債残高表(2007 年度)	金融取引表(2007年度) 金融資産・負債残高表(2008年 3月末)	3
35	表3-2 右段下から2 行目	資産の部合計 29.0(3.6)	<u>純</u> 資産の部合計 29.0(3.6)	1
35	表3-2 最下行	全国銀行業協会	全国銀行協会	3

39	図 3-3	<p>以下の項目を訂正。</p> <p>(誤) (正)</p> <p>A 銀行 → X 銀行</p> <p>B 銀行 → Y 銀行</p> <p>X → A</p> <p>Y → B</p> <p>図 3-3 内国為替決済制度</p>	1	
58	下から 4 行目	日銀の最高意思決 <u>済</u> 機関	日銀の最高意思決 <u>定</u> 機関	1
61	図 4-3 横軸の目盛	1880 1885	1980 1985	3
65	図 4-6 図の下	$\frac{1+0.7}{0.07+0.03}$	$\frac{1+0.07}{0.07+0.03}$	2
69	コラム 7 行目	所 <u>用</u> 準備	所 <u>要</u> 準備	1
76	下から 12 行目	Y を取引高 V に	Y を取引高 T に	3
94	3 行目	1 年間の利子	1 年間の利子 <u>(クーポン)</u>	1
	6 行目	…債券を <u>購入</u> した場合、…4 円の償還差損が <u>生じます</u> 。逆に…	…債券を <u>買</u> った場合、…4 円の償還差損が <u>生じ</u> 、逆に…	1
	下から 6 行目 (式の右項)	年利率	クーポン	1
106	本章のまとめ 10 行目	…が割引債の <u>単</u> 利利回り (スポットレート) です。	…が割引債の <u>複</u> 利利回り (スポットレート) です。	1
108	下から 10 行目	…処分できる <u>残存</u> 権者なので…	…処分できる <u>残余</u> 権者なので…	1

127	図 8-2	$1 + \rho$ $1 + \rho'$ $1 + i$	$-(1 + \rho)$ $-(1 + \rho')$ $-(1 + i)$	2
135	図 8-9	<p>以下の項目を訂正（図中ピンク色の部分）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軸の 4 を 3.5 に修正。 ・曲線 $r_{AB}=0$, $r_{AB}=0.5$ の位置を点 A, 点 B を通るよう修正。 <p>収益率の期待値 $E(R)$</p> <p>収益率の標準偏差 $\sigma(R)$</p>	1	
135	コラム	<p>以下数式部分を訂正。</p> <p>コラム ポートフォリオの分散の計算 (2資産の場合)</p> $\begin{aligned} \sigma^2(R_p) &= E[(R_p - E(R_p))^2] \\ &= E[(wR_A + (1-w)R_B - (wE(R_A) + (1-w)E(R_B)))^2] \\ &= E[w^2(R_A - E(R_A))^2 + (1-w)^2(R_B - E(R_B))^2 \\ &\quad + 2w(1-w)(R_A - E(R_A))(R_B - E(R_B))] \\ &= w^2E[(R_A - E(R_A))^2] + (1-w)^2E[(R_B - E(R_B))^2] \\ &\quad + 2w(1-w)E[(R_A - E(R_A))(R_B - E(R_B))] \\ &= w^2\sigma^2(R_A) + (1-w)^2\sigma^2(R_B) + 2w(1-w)\text{Cov}(R_A, R_B) \end{aligned}$ <p>相関係数の定義: $r_{AB} = \frac{\text{Cov}(R_A, R_B)}{\sigma(R_A)\sigma(R_B)}$ を代入すると、</p> $\sigma^2(R_p) = w^2\sigma^2(R_A) + (1-w)^2\sigma^2(R_B) + 2w(1-w)r_{AB}\sigma(R_A)\sigma(R_B)$ <p>$r_{AB}=1$ の場合は</p> $\begin{aligned} \sigma^2(R_p) &= w^2\sigma^2(R_A) + (1-w)^2\sigma^2(R_B) + 2w(1-w)\sigma(R_A)\sigma(R_B) \\ &= (w\sigma(R_A) + (1-w)\sigma(R_B))^2 \end{aligned}$ <p>となり、$\sigma(R_p)$ と $w\sigma(R_A) + (1-w)\sigma(R_B)$ はどちらも正の数なので</p> $\sigma(R_p) = w\sigma(R_A) + (1-w)\sigma(R_B)$ <p>となります。一方、$r_{AB}=-1$ の場合は</p> $\begin{aligned} \sigma^2(R_p) &= w^2\sigma^2(R_A) + (1-w)^2\sigma^2(R_B) - 2w(1-w)\sigma(R_A)\sigma(R_B) \\ &= (w\sigma(R_A) - (1-w)\sigma(R_B))^2 \end{aligned}$ <p>となり、$w\sigma(R_A) - (1-w)\sigma(R_B)$ は負の場合もあるので以下のようになります。</p> $\sigma(R_p) = w\sigma(R_A) - (1-w)\sigma(R_B) $	2	
139	図 8-13	$(E(R_m), \sigma(R_m))$	$(\sigma(R_m), E(R_m))$	2
145	コラム 6 行目	…等しいときは $p \pm 1/n$ なので	…等しいときは $p \equiv 1/n$ なので	1
146	下から 9 行目	…われます (分散定理)。	…われます (分離定理)。	1
149	図 9-1 図の下	キャッシュフロー = $\frac{\text{減価償却費} + \text{経常利益}}{2}$	キャッシュフロー = $\frac{\text{減価償却費} + \text{経常利益}}{2}$	1

185	図 10-4	キャリーコスト	キャリーコスト（金利負担を除く）	2
201	表 10-4 3行目	金利差 <u>0.2%</u>	金利差 <u>2.0%</u>	1
217	索引	安全資産金利 <u>94</u>	安全資産金利 <u>92</u>	1
219	索引	残存権者 108	残余権者 108	1
		「資金不足部門 22」と「シグナル 158」の間に右記を追加	資金余剰部門 22	1
223	索引	リスクプレミアム <u>94</u>	リスクプレミアム <u>92</u>	1
		量的融緩和政策 70	量的金融緩和政策 70	1
		M2+CD 16	削除	1